

平成29年度行政事業レビューシート(厚生労働省)

事業名	薬局医療安全対策推進事業			担当部局庁	医薬・生活衛生局			作成責任者		
事業開始年度	平成20年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	総務課			課長 屋敷 次郎		
会計区分	一般会計									
根拠法令(具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	医療安全対策検討ワーキンググループ「今後の医療安全対策について」報告書(平成17年5月)					
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費					
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	薬局におけるヒヤリ・ハット事例を収集し、分析・評価を行うことにより、医療安全の確保を目的とする。									
事業概要(5行程度以内。別添可)	薬局におけるヒヤリ・ハット事例を収集し、その発生原因等を分析して再発防止に役立てる。【補助率:10/10】									
実施方法	補助									
予算額・執行額(単位:百万円)		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求				
	予算の状況	当初予算	39	38	38	35	35			
		補正予算	-	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-	-			
	計	39	38	38	35	35				
	執行額	39	38	38	-					
	執行率(%)	100%	100%	100%	-					
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)	100%	100%	100%	-						
平成29・30年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算目	29年度当初予算	30年度要求	主な増減理由						
	医療施設運営費等補助金	35	35	-						
	計	35	35	-						
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 29 年度	
	実際にヒヤリハット事例を報告する環境が整った(医療安全の意識が高まった)薬局の数を把握する。	事業参加薬局のうち報告のあった薬局数	成果実績	薬局数(暦年)	537	574	集計中	-	-	
			目標値	薬局数(暦年)	661	537	574	-	28年実績以上	
			達成度	%	81	106.9	集計中	-	-	
根拠として用いた統計・データ名(出典)	薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業 年報									
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込	30年度活動見込		
	本事業への参加薬局数	活動実績	薬局数(暦年)	8,297	8,652	集計中	-	-		
		当初見込み	薬局数(暦年)	7,892	8,297	8,652	28年度実績数	29年度実績数		
単位当たりコスト	算出根拠		単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込			
	X:補助金執行額(千円) / Y:薬局ヒヤリ・ハット報告件数(件)	単位当たりコスト	円	7,079	7,997	集計中	-			
		計算式	X / Y	38,220/5,399	38,220/4,779	38,364/集計中	34,528/-			

政策評価	政策	品質・有効性・安全性の高い医薬品・医療機器・再生医療等製品を国民が適切に利用できるようにすること(I - 6)							
	施策	医薬品の適正使用を推進すること(I - 6 - 3)							
	測定指標	定量的指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度
			実績値	-	-	-	-	-	-
		目標値	-	-	-	-	-	-	
本事業の成果と上位施策・測定指標との関係									
薬局におけるヒヤリ・ハット事例を収集し、分析・評価を行うことにより、再発防止に役立て医療安全の確保に資する。									

アクション・プログラムとの関係	改革項目	分野:	-	-						
	(第一階層) KPI	KPI (第一階層)			単位	計画開始時 - 年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
			成果実績	-	-	-	-	-	-	
			目標値	-	-	-	-	-	-	
			達成度	%	-	-	-	-	-	
	(第二階層) KPI	KPI (第二階層)			単位	計画開始時 - 年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
			成果実績	-	-	-	-	-	-	
			目標値	-	-	-	-	-	-	
			達成度	%	-	-	-	-	-	
	本事業の成果と改革項目・KPIとの関係									
-										

事業所管部局による点検・改善

	項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	本事業は、薬局におけるヒヤリ・ハット事例を収集し、分析・評価を行うことにより、医療安全を確保することを目的とし、国民の保健衛生の維持向上に寄与するものであることから、国民や社会のニーズを的確に反映している。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	全国の薬局におけるヒヤリ・ハット事例の発生予防・再発防止を図ることを目的としている事業であり、国が実施すべき事業である。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	国民の保健衛生の維持向上に寄与する事業であり、優先度の高い事業である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	△	支出先は公募により選定を行っている。
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	受益者が当該事業を行う上で必要となる額を補助額として設定しており、負担関係は妥当である。
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	本事業に必要なものに限定されており、単位当たりのコストは妥当である。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	支出額については実績報告書等で確認を行っており、費目・使途は、事業実施に必要なものに限定されている。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-	-	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	平成28年実績は集計中であるが、おおむねこれまでの成果実績は成果目標に見合ったものとなっている。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	-
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	平成28年実績は集計中であるが、参加薬局数は年々増加傾向にあり、活動実績は見込みに見合ったものとなっている。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	分析した収集事例等を関係機関に周知することにより、薬局におけるヒヤリ・ハット事例の再発防止に活用されている。

関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		○	本事業は、薬局におけるヒヤリ・ハット事例の収集事業で、関連事業とは報告対象施設が異なっており、適切な役割分担となっている。
	所管府省名	事業番号	事業名	
	厚生労働省	0080	医療事故情報収集等事業	
	厚生労働省	0207	医薬品等医療安全対策事業	

点検・改善結果	点検結果	本事業は20年度にシステムを構築し、21年度から運用を開始した事業であり、29年度以降も引き続き参加薬局数の拡大を予定しているところである。今後もヒヤリ・ハット事例の発生予防・再発防止を図るため、事業内容の検討を継続して行う。
	改善の方向性	限られた予算の中で参加薬局数の拡大とヒヤリ・ハット事例を全国的に共有することで、医療安全に寄与できるよう、効率的に事業を実施する。

外部有識者の所見

点検対象外

行政事業レビュー推進チームの所見

現状通り	薬剤師等の人的要因による医薬品健康被害の発生防止に資する経費であることから、引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。
------	--

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

現状通り	-
------	---

備考

-

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	221	平成23年度	198	平成24年度	167	
平成25年度	194	平成26年度	208	平成27年度	217	
平成28年度	216					

※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省 38百万円
【薬局ヒヤリ・ハット事例の収集・分析に対する補助】
↓
【補助金等交付】
A. (公財)日本医療機能評価機構 38百万円
【薬局ヒヤリ・ハット事例の収集・分析】

費目・用途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載)	A.(公財)日本医療機能評価機構			B.		
	費目	用途	金額(百万円)	費目	用途	金額(百万円)
人件費		ヒヤリ・ハット事例情報の分析・評価等	23			
賃借料		業務サーバーなどの機器等借料	4			
印刷製本費		分析結果をまとめた集計報告、年報の印刷製本	2			
その他		運営委員会及び総合評価部会の開催経費(謝金、旅費、会議費)、通信運搬費、雑役務費等	9			
計			38	計		0

